

# 産業振興財団

## NEWS ニュース NEWS

平成25年(2013年)10月1日  
 発行 一般財団法人明石市産業振興財団  
 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7  
 (明石市立産業交流センター内)  
 TEL:078-936-7917  
 FAX:078-936-7916  
 E-mail:info@aicc.or.jp  
 http://www.aicc.or.jp

11月9日(土) 開催

明石市立産業交流センター・明石市産業振興財団設立15周年  
**元気あかし 産業交流フェア2013 (併催) 東播磨ものづくりフェア**

記念講演  
 10:30開演

## 「メイド イン ジャパン 復活の条件 — 家電や自動車産業の事例から考える」

フリージャーナリスト 井上 久男 氏

家電や自動車産業などで現在起きている課題について、NHKドラマ「メイドインジャパン」の制作協力者が、具体的なエピソードを織り交ぜながら説明します。特にパナソニックやシャープが大赤字になった真の理由は、過剰投資や円高ではなく、コーポレートガバナンスに問題があったことについて解説し、日本のものづくりが復活するためには何が必要かを考えます。

**講師プロフィール:** 元朝日新聞経済部記者。現在、文藝春秋社や講談社等が発行する各種媒体で執筆。「現代ビジネス」や「Tech-On!」(日経B P社のweb媒体)に連載コラムを持つ。著書に『メイドインジャパン 驕りの代償』(NHK出版)、『トヨタ愚直なる人づくり』(ダイヤモンド社)など多数。



### 市内企業の躍進が 明石のまちと市民の暮らしを支える



明石市は、天文科学館や明石城、タイヤタコなど観光資源に恵まれています。一方、ものづくりにおいても、兵庫県下の製造品出荷額では4番目に位置する“元気なものづくりのまち”でもあります。



その“ものづくり”を支える活動拠点として、平成10年に、明石市立産業交流センターが設置され、その活動を支援する組織として明石市産業振興財団が設立されました。

本年で15周年を迎え、明石市・東播磨地域の優れたものづくりを多くの方に見ていただき、さらなる発展を願い、この記念事業を開催します。

### 元気あかし産業交流フェア2013 イベント概要

日時: 11月9日(土) 9:30~17:00  
 場所: 明石市立産業交流センター

#### 1F (10:00 開場)

- 元気企業・支援機関大集合  
 市内企業、東播磨の企業、県下の産業支援機関約50団体の出展
- 書で表現する「わが社の経営理念」展示
- 「元気!ものづくりのまち明石」DVD上映

#### 2F

- 記念式典 (9:30~10:00)
- 記念講演「メイドインジャパン 復活の条件」
- ふしぎ科学実験ショー  
 「おもりのアクション・サイエンス」

#### 屋外

- 「ECOカー大集合!」  
 電気自動車、ハイブリッド車など国内のエコカー約10台を展示

## 明石高専との連携で多彩な事業を展開

明石高専は明石市内唯一の工学系の学校です。当財団は市内企業の技術支援のため、明石高専と平成21年に連携協力協定を結んでいます。現在は、年2回開催の技術講演会や技術相談、企業訪問、技術者育成のための実習講座（シーケンス制御の基礎、切削加工の基礎）のほか、小・中学生のための“親子で楽しむロボット教室”などを多彩な事業を実施するほか、財団の運営に関わる評議員にもご就任いただいております。

さらに平成23年には主に高専OBで構成するNPO法人技術者集団ACT135明石とも同様の協定を結び、今年7月には“明石高専 産学連携交流会”に特別会員として参加し、強固な連携体制を築いています。

### <10月以降の明石高専と連携して実施する事業>

- ・ ロボットジャンボリー“親子で楽しむロボット教室”（平成26年1月）
- ・ “ものづくり支援セミナー in 明石”（同上）



切削加工の基礎講座



ロボットジャンボリー



## “国際フロンティア産業メッセ2013”開催



会場の様子

今年で13回目となる「国際フロンティア産業メッセ2013」が、平成25年9月5日（木）、6日（金）の2日間、神戸国際展示場で開催されました。

このメッセは、次世代を担う成長産業の高度な技術や研究成果に触れる機会のある場として、また新たなビジネスチャンスの拡大と産学官における技術・情報交流の場として開催されたものです。

「BE COOL・BE SMART 兵庫・神戸から広がるエコものづくり」をテーマに開催する今回は、出展者数も環境・エネルギー関係を中心に過去最多の320社・団体となり、多くの参加者で賑わいました。

### ■ 明石市内所在の出展企業・団体9機関は、以下のとおりです。

(独)情報通信研究機構 未来ICT研究所・川崎重工業(株)・(株)行医研・(株)サーテック永田  
(株)ダイセキ・宮脇機械プラント(株)・森合精機(株)・富士通特機コンポーネント(株)・新光検査(株)

## 東播磨ビジネスマッチングフェア in 加古川を開催します

開催日時：10月22日（火）10:00～17:00 **参加無料**

10月22日（火）に加古川プラザホテル（JR加古川駅から徒歩約5分）において、「東播磨ビジネスマッチングフェアin加古川」を開催します。東播磨のものづくり企業・団体43社（うち、明石市内企業等4社）が一堂に集まり、自社製品のPRや来場者との出会いの場を提供します。奮ってご来場ください。

### 同時開催

#### ●東播磨取引商談会

県内外の発注企業の協力を得て、取引商談会を開催します。  
（発注側／約6社 受注側／約40社）

#### ●新商品・新サービス・新プロジェクト 合同プレス発表会

一堂に会したマスコミ各社を前に、自社イチオシの新商品・新サービス・新企画を発表する場を設けます。



昨年の様子

## これからの講座・セミナーなどの実施予定

セミナー名等	テーマ (内容)	実施予定
神戸学院大学公開セミナー	『これまでとこれからの年金を考える』	10月24日
金融・経済セミナー	よくわかる金融シリーズ(3回シリーズ)	10月9・16・23日
人事・労務セミナー	成長戦略を加速する中小企業の人事評価・賃金制度改革のポイント	10月30日
ふしぎ科学実験ショー	おもりのアクション・サイエンス	11月9日
神戸学院大学健康セミナー	高血圧の症状や服薬等について ※開催場所 勤労福祉会館	12月20日
産業・科学技術クローズアップセミナー	最新の産業・科学技術に関するセミナーを開催	12月
ものづくり支援セミナーin明石	ものづくりをテーマとした基調講演、技術講演、交流会など	1月29日

※セミナー等の詳細は、財団HP・広報あかし・情報定期便等で順次お知らせいたします。



セミナーのお申込は、  
**(一財) 明石市産業振興財団** へ  
 TEL 078-936-7917  
 FAX 078-936-7916  
 E-mail : info@aicc.or.jp  
 (月曜休)

### 支援機関の紹介

## AMPI ものづくり支援センター

一般財団法人 近畿高エネルギー加工技術研究所 (AMP I)

#### ● 所在地

尼崎市道意町7丁目1-8  
 (阪神電車 尼崎センタープール前駅から南東方向へ徒歩約10分)  
 TEL : 06-6412-7736 FAX : 06-6412-8266  
 URL : <http://www.ampi.or.jp/>  
 E-Mail : monodukuri@ampi.or.jp



#### ● 事業内容

“**ものづくり産業の競争力強化**”を目指し、尼崎、阪神南地域等はもとより広く地域中小企業に対して加工技術などの技術支援、また、レーザー、PVDなどによる加工サービスや技術開発、人材育成事業を行っています。

#### ここが得意！！

##### ■ ものづくり総合相談事業

製造工程で発生する様々な問題の解決や製品開発支援のための技術相談を行っています。

- ・特に金属材料の加工技術の相談指導および事故原因解析を行います。
- ・機器利用はもちろん経験豊かな技術者が依頼試験に対応します。
- ・レーザーを用いた切断の依頼加工や試作試験を迅速に行います。
- ・DLCコーティングなどの表面処理を受託します。

##### ■ 人材育成事業

- ・プレス加工など素形材加工技術の検定・指導を行っています (ものづくり塾)。
- ・材料評価・加工技術に関する高度ものづくり技術の人材養成コースを実施しています。

##### ■ リエゾンマン活動

- ・企業と一体となって製品開発支援、技術開発、工程改善に取り組みます。
- ・国などの各種支援事業への提案応募のお手伝いをします。



# 会社拝見

Vol.56

## モリサワ文研株式会社

所在地：〒673-0877

明石市人丸町3-18

Tel: 078-912-3085 / Fax: 078-913-0456

URL: <http://bunken.morisawa.co.jp/>

設立：昭和45年10月1日 従業員：30人 資本金：2000万円



本社外観

### Q：御社の事業内容をお聞かせ下さい。

A：当社は、1924年に創業者の森澤信夫が世界初の写真植字機を開発し、その機器で使用するガラスの文字盤を製造していました。1961年にフォントの製造開発会社として株式会社モリサワから分社。現在、開発製作したフォントは1,080種を超え、業界最大手として位置づけられるまでになりました。

※写真植字機：写真技術を利用した文字印刷機

※フォント（書体）：同じ特徴を持つ文字群のこと。

※モリサワ文研が20年をかけて開発したフォント「黎（れい）ミン」は、収録文字数74万8811字と世界で最も文字数の多い書体としてギネス世界記録に認定されています。



代表取締役  
森澤 典久氏



原図

### Q：御社の経営理念をお聞かせ下さい。

A：『文字を通じて社会に貢献する』が企業理念です。読みやすさ、親しみやすさ、楽しさを兼ね備えたより良い文字を提供していきたいと考えています。日本語は、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットが混在した世界で類をみない言語で、日本文化そのものと考えています。私達は文化を守るという観点からも、真剣に製作に取り組んでいます。



原図作成

### Q：御社のセールスポイントまたは、ものづくりに対するこだわりをお聞かせ下さい。

A：一つのフォントの完成までには最低でも3年以上が必要です。まず、コンセプトを設計します。コンセプトは「市場からの要望」から作る場合と「当社のデザイナーのアイデア」から作る場合があります。次にデザイナーが1文字1文字を手描きします。ベテランでも1日に描けるのは20字程度です。製作工程では何度も修正を重ね、作りこんでいきます。このようなこだわりこそ、当社の存在価値であると考えています。このため、日々のOJT、研修等により文字を創り出すプロの育成に注力しています。デザイナーは新商品開発のために、毎月、アイデア発表会も開催しています。

### Q：今後の事業展開をお聞かせ下さい。

A：電子デバイス（PC、電子書籍、カーナビなど）の普及やグローバル化の進展に伴い中国語文字（簡体字、繁体字）、ハングル文字等々の多言語化を進めていきます。また企業レポート等でも同じデザインコンセプトで作られた書体の需要は高まっており、市場の拡がりを見えています。今後も妥協することなくベスト・オブ・ベストを追求し、情報を伝え、受け取るツールとして、魅力ある書体づくりを目指します。



編集作業

※今回の会社拝見はモリサワフォント（新ゴPro）を使用しています。

ご利用ください

企業活動を支援する各種の相談

TEL 078-936-7917（月曜休）

産業交流センター3階相談室では、専門家による相談事業を実施しています。（無料）

#### 経営相談

毎週火～木曜日  
10:00～15:00  
明石商工会議所

#### 技術相談

毎週火～金曜日  
10:00～17:00  
明石テクノネットワーク

#### 発明・特許相談

毎月第2・4金曜日  
13:00～16:00（要予約）  
兵庫県発明協会

#### 起業相談

毎週火～金曜日  
10:00～17:00（要予約）  
中小企業診断士